

たかはぎ 議会だより



平成27年 第1回定例会

会期 3月6日～3月24日

議案に対する質疑	4
委員会審査報告	5
討論	7
市政に対する一般質問	8
特別委員会調査報告	13

松岡幼稚園

2015年5月5日 No.134

平成27年第1回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
選挙第1号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の一般選挙について	市議会議員から1人を選挙するもの。指名推選により大森要二議員が当選。	—
報告第1号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	損害賠償及び和解のうち、50万円以下の議会の委任による専決事項について報告するもの	—
議案第1号	高萩市副市長の選任について	前任者が辞任することから、泉幸一氏（北茨城市）を選任するため、同意を求めるもの	原案同意
議案第2号	高萩市教育委員会教育長の任命について	小沼公道氏（水戸市）を任命するため、同意を求めるもの	原案同意
議案第3号	高萩市公平委員会の委員の選任について	大高利夫氏（安良川）を選任するため、同意を求めるもの	原案同意
議案第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	石井和枝氏（秋山）が任期満了になることから、引き続き推薦するため、意見を求めるもの	原案同意
議案第5号	平成26年度高萩市一般会計補正予算（第6号）	歳入歳出それぞれから8,507万2千円を減額するもの。不用額の減額と国の補正予算対応の事業等を追加。	原案可決
議案第6号	平成26年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれに2,300万円を追加するもの	原案可決
議案第7号	平成26年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	保険事業勘定の歳入歳出それぞれから8,580万6千円を減額し、介護サービス事業勘定の歳入歳出に226万2千円を追加するもの	原案可決
議案第8号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正等に伴い、教育長の給与等について定めるとともに、平成27年度中の給与減額措置を行うもの	原案可決
議案第9号	高萩市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定について	児童福祉法の改正に伴い、保育所の保育費用および徴収根拠について定めるもの	原案可決
議案第10号	高萩市保育所設置条例の一部を改正する等の条例の制定について	児童福祉法の改正に伴い、保育所の設置目的を改め、保育の実施に関する条例を廃止するもの	原案可決
議案第11号	高萩市地域包括支援センターの人員等の基準に関する条例の制定について	地域包括支援センターにおける包括的支援事業の人員等に関する基準について定めるもの	原案可決
議案第12号	高萩市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等について、一部を除き国基準のとおり定めるもの	原案可決
議案第13号	高萩市石滝サッカー場の設置及び管理に関する条例の制定について	石滝サッカー場について、設置及び管理に関する条例を定めるもの	原案可決
議案第14号	高萩市部室設置条例の一部改正について	部・室の統合等と事務分掌の見直しを行うもの	原案可決
議案第15号	高萩市情報公開条例の一部改正について	独立行政法人通則法の一部改正に伴い、行政執行法人に改めるもの	原案可決

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第16号	高萩市介護保険条例の一部改正について	介護保険事業計画の改定に伴い、保険料率等を改め、介護予防・日常生活支援総合事業の実施の猶予をさだめるもの	原案可決
議案第17号	高萩市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	消防団員の処遇改善を図るため、費用弁償額を引き上げるもの	原案可決
議案第18号	高萩市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の全部改正について	新たな制度における教育長の勤務時間その他の勤務条件等を定めるもの	原案可決
議案第19号	高萩市立幼稚園授業料徴収条例の一部改正について	子ども・子育て支援法の施行に伴い、授業料の応能負担、多子軽減措置を定めるもの	原案可決
議案第20号	高萩市障害児就学指導委員会条例の一部改正について	学校教育法施行令の改正により、就学後の一貫した支援を行うこととし、名称を教育支援委員会に改めるもの	原案可決
議案第21号	市有財産の減額譲渡について	県立高萩工業高等学校跡地の一部等を減額して譲渡するもの	原案可決
議案第22号	高萩市道路線の認定について	宅地造成に伴い寄附された道路を市道路線として認定するもの	原案可決
議案第23号	中戸川辺地総合整備計画の変更について	広域農道の事業期間延長による計画期間の変更を行うもの	原案可決
議案第24号	平成27年度高萩市一般会計予算	平成27年度の当初予算122億2,000万円を定めるもの	原案可決
議案第25号	平成27年度高萩市国民健康保険事業特別会計予算	平成27年度の当初予算37億8,500万円を定めるもの	原案可決
議案第26号	平成27年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計予算	平成27年度の当初予算3億400万円を定めるもの	原案可決
議案第27号	平成27年度高萩市介護保険事業特別会計予算	平成27年度の当初予算24億2,830万円を定めるもの	原案可決
議案第28号	平成27年度高萩市霊園事業特別会計予算	平成27年度の当初予算830万円を定めるもの	原案可決
議案第29号	平成27年度高萩市水道事業会計予算	平成27年度の当初予算10億5,970万7,000円を定めるもの	原案可決
議案第30号	平成27年度高萩市工業用水道事業会計予算	平成27年度の当初予算2億3,318万円を定めるもの	原案可決
議案第31号	高萩市議会委員会条例の一部改正について	部室設置条例の一部改正等に伴い、常任委員会の名称、所管等を改めるもの	原案可決
議案第32号	高萩市議会会議規則の一部改正について	議会広報の充実のため、新たに議会広報委員会を設置するもの	原案可決
意見書案第1号	米価暴落に対し実効性ある緊急対策を求める意見書の提出について	政府の責任で過剰米処理を行うよう求める意見書を提出するもの	原案決議
意見書案第2号	手話言語法（仮称）制定を求める意見書の提出について	手話言語法（仮称）制定を求める意見書を政府及び国会に提出するもの	原案決議
決議案第1号	ごみ処理の調査に関する決議の提出について	ごみ処理に関して疑義があるので、事実の解明のため調査を行うもの	原案否決

議案質疑

議案第1号 高萩市副市長の選任について

作山里美 議員

質問 高萩市は過去4代続いて副市長を県からの派遣に委ねてきた。草間市政から小田木市政に代わり、今度こそは地元の前市長と期待していたががっかりした。県からの派遣副市長が高萩市に残した功績が見当たらない。それは、2年務めたらまた県へ戻ることが原則になっているので、郷土愛に燃えて落ちついて仕事に取り組めないのではないか。

小田木市長は地元の人材を副市長に登用しないのはどういうわけか伺いたい。

市長 地元からの選出ということも当然考えました。しかし、今話題になっている地方創生とか、あるいは高萩市の真の復興等を考えますと、やはり県の方に来ていただきたいという思いを強く持ちました。泉氏の場合は北茨城市に住んでおりまして、高萩市の事情も熟知されている方なので今回人事案件に提出をさせていただきます。

議案第2号 高萩市教育委員会教育長の任命について

岩倉幹良 議員

質問 現教育長である菅波洋平氏が3月31日をもって辞任したい旨の申し出があったので、4月1日より小沼公道氏を任命したいとのこと。これまで高萩市では、教育長には市内に在任する方が選任されてきた。今回、慣例を踏襲しないで市外の方を選任したいとのことであるが、その理由は。

市長 今年度4月から教育行政が大きく変わる。その理由として、大津市で起こったいじめ問題等を受けて、責任の明確化、あるいは迅速な危機管理体制の指導、地方公共団体の長との間での連携の強化などを内容としている。新制度の中では、教育の現場をよく知っている方、さらに行政経験のある方が、新制度をしつかりと行っていく上では、必要であると考え。したがって、現職ではありますけれども、行政経験が11年あり、そして小中学校での現場経験もある方を、今回選任をさせていただきます。

議案第5号 平成26年度高萩市一般会計補正予算(第6号)

平 正三 議員

質問 津波避難東西連結道路(浜野町踏切)整備事業が減額補正になっている理由を伺いたい。

建設経済部長 津波発生時に避難道路の安全を確保するために、浜野町踏切の冠水対策として、排水路整備計画を進めている。年度当初から用地の権利者であるAP&P株式会社と交渉を続けてきた。地権者から借地契約の提案があり、借地契約により排水路整備を実施することになり、減額するものである。



浜野町踏切

大足光司 議員

質問 総合計画策定経費について、その内容と審議会の構成を伺う。

経営戦略部長 基本構想の見直し及び策定経費である。計画期間は、平成28年度から32年度までであり、今回の総合戦略の調査・分析等の作業と重なるため並行して策定作業を進める必要がある。予算については、総合計画審議会を行うための委員報酬や印刷製本等にかかる費用である。

副市長 平成23年の地方自治法の改正により、基本構想の規定が削除され、計画の法的な策定義務がなくなっていることから、総合的・長期的な計画をどう位置づけしていくかの検討と、合わせて総合計画審議会の委員構成等についても他市の事例を踏まえ検討したいと考える。

議案第21号 市有財産の減額譲渡について

平 正三 議員

質問 旧高萩工業高校跡地のうち人工芝サッカー場を除いて、明秀学園に譲渡する理由を伺いたい。

経営戦略部長 高萩工業高校跡地は、茨城県から払い下げを受けた当時、明秀学園の誘致を目的とし、将来的には明秀学園に譲渡するものであることを説明し、進めてきました。人工芝サッカー場は公の施設として位置づけ、高萩市が相当期間管理するため、譲渡から除外するものである。

総務建設経済委員会

3月16日、当委員会に付託された議案8件の審査を行った。

○平成26年度高萩市一般会計補正予算(第6号)

問 歳入のうち寄附金について、その内容を伺う。

答 地域振興のための寄附金については、学校法人明秀学園から550万円、市民から1000万円、高萩高校JRC部から2万7000円。高萩こころの里支援寄附金については、3名の方からふるさと納税として18万円。東日本大震災のための寄附金については、10名の方から13万5000円の寄附金をいただいています。

問 総合計画策定経費351万6000円について、事業内容とスケジュール、地方版総合戦略策定事業との関連性について伺う。

答 地方版の総合戦略は、年内の早い時期に策定して、来年度以降の予算に反映する形で進めます。総合計画のほうも改定を行って一緒につくるということで、28年度から32年度まで5年間の総合計画を策定する内容です。4月に総合戦略の有識者会議を立ち上げ、6月に審議会を開催し、年度内に総合計画と総合戦略を1冊にまとめ

る計画です。

○市有財産の減額譲渡について

問 高萩工業高校跡地を明秀学園に減額譲渡する内容ですが、仮契約書で売買代金は3820万円とするとなっているが、その積算根拠について伺う。

答 平成24年12月に茨城県から跡地を取得した金額が4400万円、跡地全体の面積が約6万3000平米です。今回譲渡する面積は、5万4664平米ということで、この面積の案分によって、3820万円を算出しています。

問 鑑定価格が5100万円と出たのに、それを譲渡価格にしないで、県から買い入れた4400万円を基準とするなら、鑑定士を入れる必要がなかったのではないか。

答 地方自治法に基づく、適正な価格を踏まえ、譲渡する必要があることから、不動産鑑定を実施しました。

文教厚生委員会

3月13日、当委員会に付託された議案12件と請願・陳情2件の審査を行った。

○平成26年度高萩市一般会計補正予算(第6号)

問 臨時福祉給付金経費の減額理

由について、説明願いたい。

答 対象人数が3000人減少したこと、約1000人の申請がなかったことが理由です。来年度もこの給付事業がありますので、対策を検討します。

問 国保特別会計財源補填分繰出金2380万円の増額補正の理由は。

答 歳入において、国民健康保険税が減額となったこと、歳出の保険給付費が増額となったためです。赤字になった場合は、国や県からの補填はありません。最終的には一般財源で補填する仕組みになっています。

○高萩市石滝サッカー場の設置及び管理に関する条例の制定について

問 条例は、平成36年3月31日限りでその効力を失う。10年間の時限条例となるのですね。

答 本会議での説明は、人工芝サッカー場の耐用年数により10年という年数を定めた、としているが、具体的説明を。

答 全国各所の人工芝サッカー場の使用状況等を勘案すると、約10年もたないで使用できなくなっているサッカー場がありますので、10年という期限をつけました。10年後、サッカー場の状態を不動産鑑定をかけて譲渡する考えです。

問 サッカー場の使用料金の算定はどのようなものか。

答 1時間当たりの単価550円、プレー時間が前後半で90分、ハーフタイム15分になるので、2時間を1区間として、1100円と算定しました。



高萩工業高校跡地と石滝サッカー場

委員会審査報告

予算特別委員会

○平成26年度高萩市一般会計補正予算(第6号)

問 プレミアム付商品券の販売について伺う。

答 1万円で考えていましたが、5000円で発行します。販売所は、県のシニアカードとキッズカードによる割引があり、カードの確認をするため商工会と総合福祉センターの2か所で検討しています。また、スーパード等での使用金額の制限はしません。

問 ブランド品をつくるのは大変難しいことだが、ブランド育成支援経費について事業の目的などは。

答 この事業は3つの柱からなっています。①現状の調査分析、②人材育成支援、③ブランド品の戦略の検討支援。アドバイザーに委託してブランドとして価値を高められるようアドバイスをいただきます。今までのブランド委員会は一度整理をして推奨品の認定業務だけを残すことになります。

問 出産祝品購入費助成について、利用できる店舗の拡大はできないか。また、今年度の実績は。

答 昨年、薬剤師さんがいる店舗には説明し、了解が得られた4店

舗にお願いした経緯があります。来年度も事業者さんと調整する予定です。これまでの相談件数とその内容は、店舗に記録のお願いはしていませんが、毎月の店舗訪問時に内容の確認をしています。



すこやかベビー券

問 農産物特産品開発支援での日本酒の製造委託について具体的な内容は。

答 市内でつくられた酒米を使用して、新たな特産品として日本酒の試作品の製造を委託するものです。日本酒は試飲用で、イベント等で使います。酒米は栽培の経験がある市内の農家に、酒づくりは日立市の酒蔵に委託します。

問 高萩スカウトフィールド支援の全体計画、経済効果は。

答 25年から1000人規模のキャンプ場の整備を支援してきまして、今回、国の交付金を活用して

3000人規模のキャンプ場の整備を支援していきます。経済効果は試算していませんが、交流の場が広がります。ある程度整備が進めば、支援をしていくことはなくなるかと考えています。

○平成27年度高萩市一般会計予算

問 アイラブ高萩・まちづくり推進経費228万7000円について、こういった方、どのような事業が対象となるのか。

答 ①イベント支援、②団体育成ということで申請時から3年間の支援、③重点分野は少子化対策と高萩創生を考えています。補助額として、イベント支援が30万円、団体育成、重点分野が各10万円を原則上限としています。



昨年のアイラブ高萩・まちづくり大会

問 木造耐震化促進補助金120万円の内容は。

答 本補助金は、昭和56年6月以前、旧建築耐震基準で建築された木造住宅について、耐震診断を実施した住宅の耐震設計及び耐震改修工事を実施する際の費用の一部を助成し、木造住宅の耐震化を図ります。内訳は、補強設計10万円が3件、改修工事として30万円が3件、合計120万円となります。平成24年度より現在までの申請はありません。

問 河川管理経費、しゅんせつ委託料の対象河川、内容は。

答 27年度予定するのは、境川で約500立米くらいの土砂を撤去する工事となります。対象河川としては、玉川、境川、谷川、竜子川の4河川で、年次計画に基づき順次行っています。

問 津波避難東西連絡道路(高萩陸橋)整備事業の工事的、内容、工期について伺う。

答 津波による沿岸地域から避難路を確保するために実施し、整備内容については、大地震の際に線路に橋が落ちないように落橋防止システムを構築します。具体的には、高欄のかさ上げ、伸縮装置の交換、経年劣化している鉄骨の腐食関係の塗装工事を実施します。JR区間はJRへの受託工事金とし、それ以外の部分については市の工事とし発注します。工期は、

J Rと協議をしながら、7月くらいをめどに発注し、終了は3月いっぱいを見込んでいます。震災後に2度の工事を行いました。今回はあくまで橋の部分で、前2回の災害復旧工事との関連はありません。



高萩陸橋

問 放課後児童クラブ運営経費について、前年比はどのくらいか。
答 対前年比で言いますと7万8000円の減になっています。予算は26年度とあまり変わりありませんが、児童クラブの開所時間延長及び利用対象児童の小学校6年生までの受け入れにきちんと対応する予算づけとなっています。
問 秋山児童クラブ施設整備事業

の工期について伺う。
答 工期は、平成27年7月21日までとなっています。現時点では、夏休み期間中からの使用開始が可能になると思います。



工事中の秋山小学校北側校舎

問 認定こども園の経費1億925万4000円、新たに高萩市で認定こども園ができるわけですが、どういう団体がこの認定こども園を運営するのか。
答 市内の松ヶ丘保育園が平成27年4月から認定こども園に移行する予定となっています。
問 障害者手帳交付を行う業務が市のほうに移譲されるということか。
答 どのくらい短縮されるのか。新年度から身体障害者手帳の

交付事務については、今までは県のほうで審査を行っていたものを、市のほうで交付申請から審査決定までを行うこととなります。手帳の申請から交付まで、期間的には今までだと約60日ちよつとかかっていたものが、最短では2週間程度で交付になるのかなと考えています。



議案第2号 高萩市教育委員会
教育長の任命について

反対討論 岩倉幹良 議員

副市長はじめ人事の選任は議会の同意を得るというものの、為政者の任命責任が問われることでもあることから、少々の異論があっても認めるべきであると考えます。市長が新教育長に同意を求めているらっしゃる方ですので、まさに適任者であると思うしそれだけの實力を持った立派な方であると思う。私は、この方の資質や人格についてどうのこうの言うつもりはない。現教育長菅波氏の任期はあと1年あるはず。最近市内で体罰問題が起こり、保護者との対応には教育長自らが当たってこられた。

請願・陳情の審議結果

件 名	結 果
米価暴落に対し実効性ある緊急対策を求める意見書の提出に関する請願	採 択
手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願	採 択
体罰防止と安心して教育が受けられる環境づくりを求める陳情	不 採 択

ここで辞めたら今度の体罰問題の責任をとって辞めるのだと世間は思うでしょうし、ここでこの問題を投げ出してしまつては、卑怯と言わざるを得ない。辞めたいと申し出があつても慰留に努め引き留めるべきです。それでも辞任の意向が固いのであればこれまでの慣例に従つて市内在住の方にお願ひすべきであり、教育界のトップは外部の方にゆだねるべきではない。適任者は必ずいます。



平 正三 議員

たかはぎFM問題について

質問 社会福祉協議会、高萩市観光協会、高萩市シルバー人材センター、たかはぎFMの民間団体は、公益・公共的役割を果たしていることから施設使用料の免除と市からの補助金が出されている。たかはぎFMだけが特別扱いされているとは言えず、たかはぎFMの廃止の理由にはならない。災害から市民の命と安全を守るために、たかはぎFMの存続を図るべきである。

市長 総務省の見直しは10月31日までの期限になっており、それまで存続の判断をしてみたいと考えています。

就学援助制度（準要保護）について

質問 認定基準で、市民税非課税世帯となっているが、生活保護基準以下でも就学援助制度が受けられない矛盾が生きている。他の自治体と同様に生活保護基準の1・3倍以上を認定基準にすべきである。

教育部長 現在、多くの自治体が国の認定基準のほか、生活保護基

準額に一定の係数を掛けた基準を用いている。今後他の自治体の状況を踏まえ、新たな認定基準づくりを検討してみたい。

イノシシ等による被害対策について

質問 議会報告会で市民からイノシシやハクビシンによる被害対策の要望と高萩市農業委員会から捕獲促進や繁殖防止に向けた各種助成や総合的対策を求められていることについて伺いたい。

市長 さまざまな制度を積極的に活用しながら、捕獲体制の充実を図り、イノシシ等による農作物への被害の減少防止に努めていきます。



大能地区



岩倉幹良 議員

高萩工業高校跡地について

質問 当該跡地を明秀学園に減額譲渡するに際して、人工芝サッカー場だけをグラウンドのど真ん中にぽつんと残すという。公道からの通路、トイレ、水飲み場を市有地として残すべきである。

経営戦略部長 サッカー場への通路、トイレ、水飲み場等については、従来どおり使用できるよう確保する。具体的には市有地売買契約書において明記する。

質問 市の公の施設であるサッカー場へ行くための通路は、売った相手から借りるという。売る前に通路を確保できないのか。

経営戦略部長 従来どおり使用できるよう確保する。具体的には市有地売買契約書に明記する。

災害廃棄物仮置場整備工事について

整備工事について

質問 工事の予定価格が238万円なので、指名は700万円未満200万円以上の格付クラスであるCランク3社とBランク2社の計5社で入札を行う規定になっている。8月28日に執行された入札では、A・Bランクの11社で行わ

れた。市は、予定価格毎のランク付をしておきながら、自らそれを破ってCランクの業者を外しにかかった。市発注工事において理由もなく指名を外す行為は、重大な犯罪行為である。私が当事者であったら、とうに告訴状が市に届いていたであろう。



災害廃棄物仮置場整備工事作業中

市民生活部長 県の担当者のご指導をいただき、工事を監督員と協議の上適正に処理することとし、発注した。

その他の質問事項

- 市庁舎の再建について
- じん芥収集及び運搬業務委託について
- リサイクルセンターの業務について



作山里美 議員

スポーツの振興と

まちおこしについて

質問 グリーンタウンでつな住宅団地空き地を運動公園広場として衣替えすることについて、高萩市サッカー協会会長さん、高萩市野球スポーツ少年団連絡協議会会長さん、高萩市体育協会ソフトボール部部长さんがそれぞれの立場から連名による陳情書が出されておりますが、これは極めて意義深く真のまちおこしを提案されていると私は受け止めました。今、安倍政権による地方創生の時代、高萩市の創生にグリーンタウン空き地に運動広場設置事業を取り上げ早急に実施していただきたい。

市長 総合運動公園の整備事業に地方創生事業を活用することは困難かと思いますが、国においてはさまざまな補助制度等財源を生み出す制度がありますのでよく注視しながら検討をします。

ごみ処理体制について

質問 ごみ処理問題ですが、質問したいのは可燃ごみです。今のように市外の業者委託でよいのか市長に伺います。

市長 ごみ処理については、広域的な処理を目指すとともに、一方、民間活力も含めた中で検討します。

雇用対策について

質問 雇用対策は、加工紙跡地の土地利用と赤浜工業団地未売却地への企業誘致の件です。特に加工紙跡地については諸般の情勢の非常に難しい問題ですが、市長の熱意を伺います。

市長 加工紙跡地については、何とか有効な利活用を実現しなければなりません。所有者の意向を確認しながらためまぬ努力を続けていきます。



用水型企業の誘致が望まれる赤浜工業団地

※現在は、県事業の離岸堤かさ上げに必要な消波ブロック製作のため県に賃貸



寺岡七郎 議員

公共施設等管理計画

について

質問 公共施設等管理計画基本方針案が示されています。今後25年間で市は人口2万人を割り、また、高齢者の割合は4人に1人から2・5人に1人になると予想されています。施設は築30年以上を経過したものが全体の45%、特に学校等の老朽化は深刻です。しかし、財政的には人口減少による市税の減収の一方、少子高齢化による扶助費の増加があります。実行に当たっては3つの大方針を出しています。①公共施設を適切な保有量に圧縮する。②既有施設の複合化、多機能化を図る。③財政と連動した公共施設。

しかし、高萩保育所、第一幼稚園、東幼稚園は早急に耐震化をしなければならぬにまだ手がついていないが、その理由は。



平成26年3月策定の
管理計画基本方針案

その他の質問事項
○空き家対策について
○ごみ処理について



高萩保育所

健康福祉部長 平成27年度までに小中学校の耐震化が100%完了する予定なので、高萩保育所、幼稚園の耐震化は、その後入所児童数の推計等も勘案しながら取り組んでいきたいと考えています。

質問 子供たちの命を預かっている施設の耐震化をしなければならぬという方針がある。しかし、早や4年が過ぎていく。今後の見通しが無い。なぜ優先度が他の事業から比べて低いのか。低いとすればその理由は何か。

教育部長 保育所、幼稚園の耐震化は建物の改修基準には該当していません。しかしながら、園児たちの生命を守るという観点からは保育所との統合と耐震化を一体的に進めていかなければならないと考えています。



菊地正芳 議員

未婚の母（父） 子家庭について

質問 結婚歴のない未婚の場合、生活実態は同じでも、寡婦の定義に当てはまらず「寡婦（夫）控除」の対象にならない。控除がない分、保育料や市営住宅の家賃等の負担が重くなる。福祉制度においても適用の違いが生じている。そこで、当市でも「寡婦控除みなし適用」を導入し、軽減措置を取るべきと思うが見解を伺う。

健康福祉部長 各自治体を参考にしながら検討をしてまいります。

放課後児童クラブについて利用者負担金の軽減について

質問 兄弟姉妹での入所や母（父）子家庭に対して、軽減措置を明確にすべきと思うが見解を伺う。

健康福祉部長 負担軽減につきましては、今後検討を進めてまいります。

認知症対策について

質問 「軽度の認知障害」の状態を簡単に判定することができない「認知症チェッカー」を導入すべきと考えるが見解を伺う。



健康福祉部長 導入については、前向きに検討してまいります。

質問 子どもたちにも人権教育として、認知症ジュニアサポーター養成講座オンライン教室を開催してはどうか見解を伺う。

教育長 人権教育や福祉教育の一環として、講座に必要な時間数や内容等について調査した上で高齢福祉課と連携しながら開設に努めてまいります。

代読・代筆サービスについて

質問 読み書きが困難な障害者や高齢者等に対し、より充実した読み書き代行サービスが必要と考えるが見解を伺う。

健康福祉部長 活動の場や取り組み方法等について、調査研究してまいります。



今川敏宏 議員

市民の公平性について

質問 ①ゴミ処理などの受益者負担の原則を明確化し、周知徹底をはかるべきと考えますが見解を伺います。



②プレミアム付き商品券は買うと得をするもので、販売価格を5千円にし、より多くの市民が買いやすく利益が行き渡るように思いますか。

③地域に設置されている防犯灯などの夜間照明の電気料金や維持管理費は、地元の常会などが負担しています。常会加入者と非加入者に不公平感が生じていたり、照明が消え不安が大きくなる懸念があります。維持管理費の負担を見直すべきではないですか。

④各種補助金は補助を受ける団

体のためだけではなく、その事業が市民のメリットとして還元させるために、計画・実行・評価・反映のシステム導入をすすめてはと思いますが見解を伺います。

市民生活部長 ①ゴミ処理料金の適正性、公平性については、今後とも総合的に判断したいと考えています。

経営戦略部長 ②プレミアム付き商品券は県事業のシニアカード、キッズカード併用割引があります。

総務部長 ③今後、防犯灯設置管理の利用者負担の適正化を考慮した新たな制度など検討します。④各種補助金については、交付の成果を評価しよりよい事業となるように努力していきます。



防犯灯

その他の質問
○高萩創生について

- ①高齢化対策
- ②少子化対策
- ③人口減少対策
- ④資産対策
- ⑤広域行政について



我妻康伸 議員

道路管理について

質問 道路の安全管理は、安心なまちづくりの基本中の基本だと思います。取り組みをお聞かせください。

建設経済部長 道路や橋、インフラの維持管理につきましては、公共施設管理計画におきましても重要な課題であります。定期点検などにより、維持管理経費の削減を図りながら、安全なまちづくりを目指してまいります。

サンライズカントリークラブ跡地について

質問 跡地で現在、太陽光発電のための開発が行われておりますが、これまでの指導内容についてお知らせ願います。

建設経済部長 事業の許可権者は茨城県でございます。市としましては、市の意見書を提出しております。県からの設計承認通知書には、工事中の災害防止について、必要な措置を行い、災害を未然に防ぐよう努めることなどの条件書を付して許可をしており、適正に管理されているものと認識しております。

災害時の情報伝達、

たかはぎFMについて

質問 市が全面的に支援するということ、たかはぎFMが設立されたことを踏まえ、市のかかわり方は、今後、どう考えているのかお聞かせ願います。

市長 たかはぎFMは、災害発生後の有効な情報伝達手段であり、平常時にはまちのにぎわい創出に寄与することから、今後も連携を図ってまいりたいと考えています。



工事中のサンライズカントリークラブ跡地



田所和雄 議員

常磐線の東京駅乗り入れについて

質問 上野東京ラインの開業により、東京方面から高萩へのアクセスが格段によりくなります。利便性が増した高萩駅を市の活性化に生かす対応策について伺います。

市長 今回のダイヤ改正により、高萩駅に停車する特急列車本数については、上りが3本増加の13本、下りが1本増加の12本となっております。今後も常磐線整備促進期成同盟や近隣市との連携により要望活動を行うなど、運行本数の確保に努めるとともに、JRとの連携による高萩駅環境整備や接続場所の調整により、利用者の利便性を確保し、観光客の誘客など、高萩市の活性化につなげていきます。



特急ひたち・ときわが品川駅へ

公共施設の誘導サインと駐車場について

質問 高萩市民センターは、中心市街地に立地する唯一の公共施設です。わかりやすい誘導サインと、建物の規模に見合った駐車場の整備について、所感を伺います。

総務部長 平成27年度公共施設誘導サイン設置事業で統一的なデザインを決定し、計画的に設置する予定です。駐車場については、不足する場合には駅近辺の民間駐車場の借り上げ等について、調査研究してまいります。



高萩市民センター

その他の質問事項

○都市計画について
○交通安全施設の整備について
(市道206号と南銀座通りの交差点の安全対策)



小宅 誠議員

3・11から学ぶ 防災対策について

質問 震災対応におけるハード面で、インフラ施設の復旧と強靱化、新たな防災施設の整備など道半ばと私は認識している。市長は現状をどう認識しますか。

市長 震災からのハード面の復旧事業に関しては、概ね完了しました。残すところは市庁舎建設事業であります。今定例議会の特別委員会において、見直し案を提示いたしましたして、年内に工事着工したい。



高戸大橋の復旧工事

復興事業では、交付金事業の14事業のうち12の事業が完了してい

る。未執行事業としては、浜野町踏切と高萩陸橋の整備事業の2本を残すのみとなりました。新年度予算に計上して、防災と減災対策事業を進めていきます。ハード事業が復興の全てではないと考えている。震災前よりも、街全体がにぎわいを取り戻し、市民の方々が活力を実感することが、真の復興と考えている。

質問 ソフト面、公助としての災害時職員行動マニュアルに基づいて訓練計画はどうなっているか。

総務部長 総合防災訓練の際に、職員自身の身の安全確保、職員連絡網の確認、避難所の開設や施設の被災状況の確認など、各班の役割に応じた訓練を取り入れて、各班の責務を十分果たせるよう努めていきます。



質問 市民や市職員を対象に被災地への視察ツアーを計画しては。

総務部長 実施するに当たって効果等を勘案し、今後検討していく。



大足光司 議員

空き家対策について

質問 空き家対策の現状や取り組みなど、どのように考えているか聞く。

総務部長 国から適切な実施を図るためのガイドラインが示される予定であり、それらを参照しながら協議会の設置や、空き家対策計画の策定、データベースの整備等に取り組んでいく。

質問 空き家対策を地域の活性化、人口増加策、定住化対策の手段に用いるなど、前向きな取組をしている市町村もある。本市はどう検討されているのか聞く。

総務部長 法律では空き家と特定空き家とに分かれる。特定空き家は倒壊等の恐れがあり、除却、修繕など必要な措置を取る。通常の空き家は、地域交流、福祉サービスの拡充などの観点から、地域貢献などに有効活用できる可能性のあるものも存在することから、空き家対策計画や協議会において活用についても検討する。

質問 アーティスト・イン・レジデンス事業を空き家対策と合わせて、実施が出来ないか。

経営戦略部長 常陸太田市の地域

おこし協力隊はアーティスト枠があり、主に制作や会議、ワークショップ、情報発信などの地域協力活動を行い、地域の魅力の創出や発信に取り組んでいる。協力隊は各地で成果が見られるため、国で人数を現在の約1000人から3年間で3000人として、総理大臣の指示のもと、交付金を用意し進めていくとのことである。アーティスト活動を含め、協力隊は地域により様々な活動を行っており、各地の事例などを参考に高萩市としての取り組みについて検討する。



その他の質問事項

○公共施設管理計画について
○まち・ひと・しごと創生について

○消防行政について

震災復興等対策特別委員会 調査報告

3月4日 第36回委員会

本庁舎再建について市長より面積縮小の基本設計が示されました。

3月20日 第37回委員会

本庁舎基本設計について設計者である（株）日立建設設計の設計技術者を招き、質疑応答並びに、設計に関する意見を伺いました。

3月24日 第38回委員会

新庁舎の基本設計に関する意見をまとめ、全員賛成で意見書を市長に提出しました。内容は以下のとおりです。

記

- 1 延床面積（6,033㎡）については、異論なく了承する。
- 2 正副議長室及び事務局室（付随する図書室及び応接室も含む）については、南側に面した配置とし、議場を北側に配置することを検討すること。柱の位置が支障となる場合は、議場の幅

（広さ・形状）を変更するか、柱の移動をするか検討すること。

- 3 議場の入退場の動線については、執行部側と議員側とを分けて検討すること。

- 4 発電機室については、庁舎外または屋上に設置することを検討し、庁舎屋内については執行部の書庫などとして有効に活用すること。また、発電機の大きさは大型のものを1台とするのではなく、小型のものを複数台に分割し、容量の増減を容易にし、発電機の交換や故障のリスクを回避すること。

- 5 本庁舎における自然（再生可能）エネルギーの活用については、計画を策定し事前に説明をすること。



福祉センターに設置された非常用給水タンク

委員会の変更

◆総務産業委員会

常任委員会のうち、総務建設経済委員会の名称を変更しました。

◆議会広報委員会

ホームページ等の多様な広報手段を活用し議会広報の充実を図るため、議会だより編集特別委員会を廃して新たに委員会を設置しました。

研修会の開催

2月9日に北茨城市議会と合同で議員研修会を開催しました。当日は、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健先生から「地方創生時代の議会の役割」市民は議会をどう見ているか」を演題にご講演いただきました。



議会日誌

2月

5日 福島県田村市議会会派視察来市

9日 高萩市・北茨城市両市議会議員研修会

13日 茨城県市議会議長会第2回議員研修会

19日 議会全員協議会

25日 議会運営委員会

26日 議会全員協議会

27日 第1回日立・高萩広域下水道組合議会定例会

3月

4日 震災復興等対策特別委員会

6～24日 第1回定例会

24日 震災復興等対策特別委員会

議会広報委員会

25日 第1回高萩・北茨城広域工業用水道企業団議会定例会

4月

9日 議会広報委員会

10日 議会全員協議会

16日 議会広報委員会

17日 議会運営委員会

24日 議会全員協議会

第1回臨時会

25・26日 震災復興等対策特別委員会議会報告会

高萩 新畑 良子さん

去る3月、日立市・北茨城市・そして高萩市の3月定例議会を傍聴しました。「高萩の議員さん、市職員の皆さん、委員会での審議進行は、余りにもものんびりですね・・・もっと活発な議論審議が見られることを期待したのにねー」と、傍聴席から、ぼそぼそと聞こえてきた。「手話言語法の制定を求める意見書の提出」の請願運動です。各市議会でのどのように審議されるのか、委員会傍聴はいろいろと学習になりました。

今後、手話言語法が国会において制定されると、手話が日本語と同等の言語として認められ、聴覚障害者が学校や病院、地域社会生活の必要な場で手話で会話ができ、安心して生活できるようになります。

本会議24日最終日の議場で、意見書案提

出の議題の中で手話の同時通訳が試みられたことは、市議会のご理解と配慮に感動いたしました。

請願が採択された時は、聴覚障害者、手話通訳者の方々から自然に拍手が沸き起こり感激しました。私自身、今まで以上に手話通訳の向上に邁進して、聴覚障害者支援活動が続けていきます。



傍聴においでください

第2回定例会（6月）予定

6月12日（金）	本会議	議案上程
15日（月）	本会議	一般質問
16日（火）	本会議	一般質問
18日（木）	本会議	議案質疑
19日（金）	文教厚生委員会	
22日（月）	総務産業委員会	
23日（火）	震災復興等対策特別委員会	
25日（木）	本会議	採決

※日程等が変更になることがあります。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	たかはぎFM
本会議	○	○
総務産業委員会 文教厚生委員会	○	○
震災復興等対策 特別委員会	○	

市のホームページの「高萩市議会」からお入りください。

委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのユーストリームを利用しています。使用環境によっては、見られない場合があります。

議会広報委員会

委員長	大 足 光 司
副委員長	田 所 和 雄
委員	今 川 敏 宏
	岩 倉 幹 良
	小 田 宅 誠
	飯 田 毅 昭
	我 妻 康 伸

新緑の季節。春から初夏にかけて、この季節ほど自然の生命力を感じる季節はないでしょう。生命の息吹とともに「健康」であることの大切さも再認識します。生命は生きている限り常に変化しています。変化とは今現在のままではないということ、つまり今現在よりも良くなるか悪くなるかのどちらかということでしょう。良くなったたり悪くなったりを繰り返しながらバランスを保っていられば、健康でいられるということでしょうけど、意識しなければすぐ悪くなり、良くなるにはそれなりの努力が必要なのだと思います。ともに生きるためにがんばりましょう。

（今川敏宏記）